

# 「火の用心だより」

第82号(1月号)

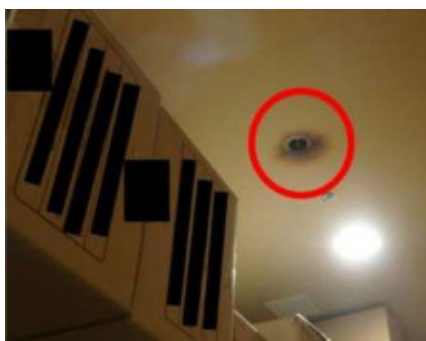
発行：札幌市消防局予防部予防課

## 火が直接あたらなくても火災が発生することがあります！

火災といえば、取り扱っていた火が誤って他に燃え移ってしまった…というイメージですが、**熱によって徐々に温められることで火災が発生することがあります。**ここでは2例とりあげます。

### ■ <事例1> ダウンライトを塞いでいたため、熱がこもり出火

ダウンライトに接触した状態で段ボールが置かれていたため、ダウンライトの熱が蓄熱された結果、出火した事例



<塞がれていたダウンライト(写真)>



<ダウンライトを塞いでいた段ボール(写真)>

### ◆実験映像<札幌市消防局消防科学研究所>

家庭用白熱電球(100V100W)による出火

実験映像はこちら



## ◇どうすれば火災を防げた？

上記のような火災を防ぐためには、どうすればよいでしょうか。当たり前のことではありますが、日ごろからの火災予防につながりますので、今一度確認してみましょう。

- 熱を発生させる機器等の近くには、絶対に燃えるモノをおかない！
- 日頃から身の回りの整理整頓を行う！  
(余談ですが、整理整頓を行うことで集中力アップにつながるという研究結果があります！)

## ■ <事例2> こんろの熱が壁の中の板に伝わり、出火

ガスこんろからの熱に継続的にさらされたことにより  
壁内の下地の木の板が発火し、出火した事例

<火災の原因となったこんろと燃焼物（写真）>



## ◇ どうすれば火災を防げた？

こんろは日常で使用するため、他人事ではないですね。こちらも、きちんと対策をとることで火災を防げます。

- 火を取り扱う近くの壁などは難燃性の素材を使用する。
- 熱を通さないように遮熱パネルを設置する。

## 市内の高齢者のみの世帯に対して自動消火装置設置費助成事業を行っています！

札幌市では「自動消火装置」という、火災の熱を感知し、自動で消火薬剤を噴射して初期消火を行う装置の購入・設置費用の助成事業を行っています。市内の65歳以上のみで構成された高齢者世帯を対象に、1台あたり28,700円を上限に、1世帯2台まで助成しています。令和3年12月9日（木）からは、世帯全員の住民票添付の要件を撤廃し「家から一歩も出ないで申請」することが可能となりました。

設置を検討する場合は、まずは市内に約40店ある札幌市認定の登録販売店に相談をお願いします。登録販売店の一覧は市内の消防署での配布又は札幌市公式ホームページで閲覧できます。ぜひ活用をご検討ください！

その他詳細は、札幌市公式ホームページの「自動消火装置設置費助成事業」のページをご覧ください。

<ホームページへのアクセス方法>

スマートフォンの方は、右の二次元バーコードからアクセスしてください。



又は、  で

### 市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO



さっぽろ市  
☎06-21-624  
R3-2-481